

令和3年度「冬の星空を楽しむ」実施報告書

I 事業の概要

1 期日 令和3年12月4日(土)～12月5日(日)

2 日程

12月4日(土)	12月5日(日)
16:30 受付開始 17:00 出会の集い 17:30 夕食 18:30 クラフト(松ぼっくりツリー) ※宿泊者はオリエンテーション 19:30 片づけ完了 20:00 星空観察 ※荒天により星空講話 21:15 入浴 ※日帰りは感想記入・解散 22:30 就寝	7:00 起床 7:30 掃除 8:00 朝食 9:00 クラフト(松ぼっくりツリー) 10:00 片づけ、感想記入 10:15 解散

3 趣旨 冬の星空観察を通して、宇宙や自然環境について興味関心を持ち、雄大な自然の中で星空観察することで、自然環境の素晴らしさや大切さに気づき、故郷を愛する気持ちを育てる。

4 対象 小学生とその保護者 12家族

5 応募者数 12家族

6 当日参加者数 12家族33名(日帰り6家族12名、宿泊6家族21名)

7 参加費 日帰り1人 1,000円 宿泊1人1,800円

II 実施状況

今年度2回目となる宿泊ありの主催であった。当日は残念ながら雨が降る中での出迎えとなってしまった。出会の集いでは、指導員のユニークな自己紹介と山下係長のアイスブレイクで、会場は温かい雰囲気にもまれた。

天気は荒天が予測されていたので、事前準備の段階で、ひざ掛け用の毛布も用意しておいた。参加者は各自で防寒のために使用していただいた。

食事では、栄養士と相談し、クリスマスも近いことから、温かいシチューをメインに提供でき、満足していただいた。

今回は日帰りと宿泊の選択制にしたので、参加者の動きがそれぞれ違っていた。日帰りの方には、松ぼっくりツリーを作製していただいた。松ぼっくりツリーづくりはみなさん集中して素敵な作品を作られていた。宿泊の方には、オリエンテーション後にゆっくりと過ごしていただいた。



その後、レクリエーションホールで講師の小川敦司さんと中本義明さんに星空解説をしていただいた。小川さんが用意されたプレゼンテーションを見ながら、鳥取県で見ることができる星や星座の説明を詳しく聞くことができた。また、子どもには星座早見盤をプレゼントし、小川さんに使い方を教えていただいた。

当初の予定より家族ごとの入浴時間が十分に時間を確保することができたので、宿泊者にはゆっくりくつろいでいただいた。また、今回はホットドリンクの提供もしていたので、セルフで入れていただく場を設定した。予想以上に好評で、寒い夜にはとてもよかったようだった。

2日目のクラフトも日帰りの方向様に、集中して素晴らしい作品を作り上げ、笑顔で退所された。



Ⅲ 総括

Ⅰ アンケート結果

《参加者の満足度》

(参加者12家族33名 家族ごとにアンケート 回収率100%)

事業全体の満足度:満足 11組、おおよそ満足 1組

《参加者の感想》(抜粋)

- ・ 星空は見られませんでした。星に関するお話をたくさん聞いて有意義な時間でした。中学生が参加できる企画がほとんどないのでとても貴重な体験でした。(大人)
- ・ 星を見ることはできなかったけど、星空講話で先生の話が分かりやすくてまた聞きたいと思いました。指導員の方もおもしろかったです。(子ども)
- ・ いろいろな星空観察会に参加しています。子どもがどんどん興味をもって知識を得ているので、このような活動を続けてほしいです。次回は外で観察できることを願っています。(大人)
- ・ 親子で松ぼっくりツリー作りを一緒に楽しめてよかったです。ご飯もバランスがとられてよかったです。(大人)

2 成果

- ・ 悪天候により、星空についての講話であったが、初心者でもわかりやすい小川さんのプレゼンテーションが良かった。
- ・ 荒天予想だったので、寒さ対策としても前回の反省をもとに、事前に毛布を準備できた。
- ・ 星空観察だけではなく、クラフト製作や缶バッジのプレゼントも企画していたことで、参加者に充分満足していただけた。

3 課題

- ・ 雨と雪など、天候に大きく左右される企画なので、実施の可否の判断が難しい。
- ・ 星空観察を楽しんでいただくために、大山青年の家で実施しているような、星空観察会を定期的に関く事業を考えることも1つの案かもしれない。